

大河津分水 (下)

前回は幕政時代の分水運動の一端を紹介したように、当地は田沢与一郎の一部を除いて反対の立場をとっていた。

賛否の激論の渦中の明治元年に、未曾有の大洪水に見舞われ、当地は泥ねいと化し、計り知れない大損害を被った。これを期に当地は賛成に転じ、分水工事運動の中核に位置するに至ったのである。



田沢実入



田沢与一郎

緊密な連携いプレーで東奔西走、粹骨碎身、その実現方を政官界に間断なく鋭意働きかけた。

田沢父子事績年表(敬称略)

安政5年頃 与一郎生まる

嘉永5年 実入生まる

慶応元年 分水工事国役普請出願

明治元年 大洪水 2年 治河使総督に分水工事敷願 同工事許可

民部省用弁掛となる 8年 同工事廃止 12年 実入郡書記となる

14年 五反田破堤 実入 市島正内 須田勝十郎ら信濃川治水論

15年 実入同統論 五反田破堤分水工事再興出願 信濃川治水会社創設 16年 実入県議 与一郎没 18年 信濃川治水論 19年 信濃川堤防改築工事決定 治水会社廃止 県議辞職 県庁奉職 26年 内務省奉職 29年 赤洪破堤 30年 鷺巻 保坂 鯉沼欠壊 40年 分水工事起工決定

大正12年 内務省辞職 13年 分水竣工式 実入没

昭和3年 現在、田沢実入らの論文や業績を新潟新聞で詳しく知ることが出来る。名利に恬淡、秀れた実行力と指導力で理想にまい進する莫大な姿は今日の私共の胸をうつ。誠に以て誇るべき人々であった。

『市史よもやま話』は、今回をもって終了させていただきます。



ふきのとう見つけた (白蓮保育園)

情報

記号の説明
□ 対象者
○ 内容
◇ 問い合わせ

情報センター297は、市民の皆さんから自由に使っていただくコーナーです。掲載申し込みは広報広聴係 ☎2111 ☎297へ

民謡尺八・三味線教室 □ 毎月三回練習 午後8時から10時まで
中央公民館 □ 市民どなたでも、初心者大歓迎 □ 会費は月額2500円 □ 3月31日までに庭山仁司(魚町・☎2658)へ
囲碁ファン集まれ あなたも余暇を囲碁で □ 毎週土曜日 午後1時から6時まで □ 中央公民館 □ 日本棋院白根支部(中野克行・☎2587(夜間))
サークルゆにれつく □ 毎週月曜日 午後7時30分から10時まで □ 青年教育センター □ 青年 □ レクリエーション・野外活動など
渡辺直美(下大郷・☎0252-3491)
白根市レクリエーション協会 □ レクリエーションによる楽しく遊ぶおののあるまちづくりをめざしています □ 毎月第1第3水曜日 午後7時30分から10時まで □ 青年教育センター □ なたでも □ レクリエーション全般 □ 事務局(市社会教育課内・☎3171)
ボランティアの輪を広げよう 社会福祉協議会では、白寿荘内に「ボランティアセンター」を置き、ボランティアの登録を呼びかけています。登録は個人でもグループでもかまいません。あなたの熱意と技術を登録してください。また、ボランティア活動の進め方の相談と助言、ボランティアを必要としている所へ紹介、あつせんを行っています
□ 白寿荘(老人福祉センター・☎3096)
白根農業大学講座 農業を志す青年を対象に、2年制の農業大学講座が4月に開講します □ 農業改良普及所、青年教育センター □ 18歳から20歳までの農業を志す青年 □ プロジェクト研修、現地研修など □ 白根農業改良普及所(☎1125)
求人テレホンサービス 新津公共職業安定所では、就職を希望する人のために、主な求人情報を電話でお知らせします。ご利用ください
☎02502-8100
鷺巻村報 昭和14年17年ころの間に発行された「鷺巻村報」をお持ちの人はご一報ください □ 成沢素明(東笠巻新田・☎5321) □ 広報広聴係(☎2111 ☎297)

人口は20市中17番目

昭和55年の国勢調査から—55年10月1日現在の白根市の人口は33,092人。これは、県内の20市の中で17番目の順位です。白根市より人口が少ない市は、栃尾新井、両津の3市です。

数字でみる市勢

15,600台——この数字は、昨年の国道8号線の1日の交通量です。ちなみに50年の調査では17,640台でした。

白根署管内交通事故 (2月末現在)
人身事故件数.....12件
死者...1人 負傷者...14人
だいじょうぶ
でももう一度 右左

広報 しるね

3/15 No.316

毎月1・15日発行
発行日/昭和57年 3月15日 発行所/白根市役所

美しい自然のあるまちづくり